

# うるま市のごみ処理経費・ごみ搬入量・資源化量等について

中部北環境施設組合に搬入された平成28年度のごみ量は、前年度と比較して増加しています。ここ数年概ね横ばいの状況にありますが、市民一人当たりのごみ処理に係る経費が多額であります。より一層うるま市が推進するごみ分別、リサイクルの取り組みを徹底し、ごみの減量化を図る必要があります。

## ○ごみ減量に向けた4R運動の取り組みにご協力をお願いします。

- ・リデュースのR・・・ごみを減らそう
- ・リユースのR・・・繰り返し使おう
- ・リサイクルのR・・・資源として活かそう
- ・リフューズのR・・・ごみになるものを断ろう



## 1.平成28年度ごみ処理経費

経費区分		金額	市民1人当たり年間負担金額	1世帯当たり年間負担額
ごみ収集運搬等諸経費		2億2,250万円	1,813円	4,412円
負担金	ごみ処理経費	11億4,956万円	9,365円	22,794円
	最終処分費	2,254万円	183円	447円
ごみ処理総事業費		13億9,460万円(13億8,668万円)	11,361円(11,348円)	27,653円(28,047円)

\* ( )内の数値は平成27年度実績です。

## 2.ごみ搬入量

ごみの種類		平成27年度	平成28年度	前年度比較	市民1人当たり1日の排出量	1世帯当たり1日の排出量
可燃ごみ		31,019 トン	31,538 トン	519 トン	703.9 ㌦	1,713.3 ㌦
不燃ごみ		577 トン	674 トン	97 トン	15.0 ㌦	36.6 ㌦
粗大ごみ		463 トン	493 トン	30 トン	11.0 ㌦	26.8 ㌦
資源ごみ	缶類	287 トン	336 トン	49 トン	7.5 ㌦	18.2 ㌦
	びん類	917 トン	918 トン	1 トン	20.5 ㌦	49.9 ㌦
	ペットボトル	320 トン	358 トン	38 トン	8.0 ㌦	19.5 ㌦
	古紙類	327 トン	334 トン	7 トン	7.4 ㌦	18.1 ㌦
合計		33,910 トン	34,651 トン	741 トン	773.3 ㌦	1,882.4 ㌦

## 3.資源化量

ごみの種類	平成27年度	平成28年度	前年度比較
缶類	259 トン	302 トン	43 トン
金属類	247 トン	275 トン	28 トン
びん類	890 トン	880 トン	-10 トン
ペットボトル	280 トン	312 トン	32 トン
古紙類	250 トン	234 トン	-16 トン
古布類	2 トン	2 トン	0 トン
蛍光管	20 トン	20 トン	0 トン
乾電池	25 トン	20 トン	-5 トン
スラグ	2,182 トン	2,115 トン	-67 トン
メタル	0 トン	0 トン	0 トン
合計	4,155 トン	4,160 トン	5 トン

- \* 平成29年1月末の人口122,753人、世帯数50,432世帯、平成28年1月末の人口122,201人、世帯数49,442世帯です。
- \* 端数処理をしている為、数値が一致しない場合があります。
- \* 資源化量の金属類は、不燃ごみ・粗大ごみから破砕・分別して出てきたものです。
- \* 資源ごみ搬入量と、資源化量の数値の違いは、手選別作業による異物除去のためです。
- \* 負担金とは、ごみ処理事業を行う為に必要な経費をうるま市から中部北環境施設組合にあてる、ごみ処理経費です。

## 4.最終処分量

種類	平成27年度	平成28年度	前年度比較
飛灰	910 トン	939 トン	29 トン

## リサイクル工房の利用について募集



組合のリサイクル工房内にあるパッチワーク工房を利用してみませんか。下記の条件等で募集します。  
 ○うるま市及び恩納村の住民で構成する団体(任意で可)に限ります。○販売・営利を目的とした利用は出来ません。  
 ○そのほか利用方法については、組合の指示に従うこと。  
**【活用例】** 資源ごみで回収された衣類を活用し、パッチワーク、マイバックや布草履作り、衣服のリフォーム等々

詳細については、お問い合わせください。

◆ お問い合わせ先 ◆ 中部北環境施設組合 ☎972-6619